

一般質問

本 福
議員 議

○西部工業団地造成事業の進捗と企業誘致について

【質】現在の造成工事の進捗状況と、これまでと今後の事業費について伺います。

【産業振興課長】8月末時点での進捗率は事業費ベースで47・2%、これまでの事業費は約2億5600万円、今後の事業費は約2億8600万円です。

【質】西部工業団地にはどのような業種、企業を重点的に誘致しようと考えているのか伺います。

【産業振興課長】基本的には製造業を中心とした誘致活動を進めていきたいと考えています。一方で、本市も含めた、過疎地域に共通した労働者確保の困難さから、進出を敬遠される実情もありますが、労働者確保につながる支援策を講じ、適正規模の企業をターゲットとするなどの対応も考えています。

【質】市長自らトップセールスを行い、企業を呼び込むという強い姿勢が必要だと考えますが、市長の考えを伺います。

【市長】県と産業振興財団へは、適宜訪問をし、本市の思い、熱意をお伝

えています。また、西部工業団地以外についても、今後の生成AIの普及や企業のDXの加速化によるデータセンターの需要等もあるため、それらの企業誘致ができないか、興味を持って具体的に取り組みを進めていきたいと考えています。

○松浦魚市場における荷揚げ待ちについて

【質】松浦魚市場での、漁船の入港から荷揚げ開始までの待ち時間について伺います。

【水産課長】通常、水揚げ開始は夜中の午前3時から行われ、正午までには水揚げが終了します。仮に当日の午後に入船した場合は翌日の午前3時までの15時間の待ち時間、また、休市日を挟む場合や水揚げ量が多い日などは翌々日になり、39時間程度の待ち時間になる場合もあります。

【質】荷揚げ待ちによる魚の鮮度低下や販売価格の下落、操業機会の減少、漁獲量への影響について伺います。

【水産課長】西日本魚市(株)が周辺市場の水揚げ量や価格相場などを細かく調査し、1日に処理できる量を見定め、水揚げ調整を行っている状況です。操業機会の減少、漁獲量への影響については、現在の荷さばき処理や冷凍施設の能力に限界があるため、周辺の市場機能の強化を図り、対応していきたいと考えています。

一般質問

水 志
議員 議

○水産業の振興について

【質】「松浦の極み」にクロマグロとクルマエビを新たに選定した理由、その目的や期待する効果を伺います。

【文化観光課長】令和7年2月の松浦市産品戦略推進会議で委員から産品追加の提言があり、精査を経て、本市の水産業をさらに牽引する2品目を追加しました。目的は、本市が「アジフライの聖地」として高めてきたブランド力を基盤に、本市の圧倒的な強みである高級魚介類の魅力を前面に出す効果的なタイミングと判断したこと、クロマグロが県内の品評会で最優秀賞を受賞し、クルマエビが豊洲市場をはじめ国内外で高い評価を得ていること、さらに、本市のふるさと納税の返礼品として高い人気を誇り、生産者の卓越した技術と情熱で、品質・生産量が既に確立されているためです。期待する効果は、大都市圏の高価格帯市場への販路拡大強化による生産者の所得向上と水産業全体の活性化で、これまでのアジ、サバに加え、クロマグロとクルマエビが加わることで、海の食資源の豊かさを総合的にアピールできる点です。

【質】「松浦の極み」に選定され、需要が増えることは良いことだが、生産拡大の取り組みについても考える必要があります。中・長期的な産業の発展のための計画の考えがあるか伺います。

【水産課長】消費拡大に伴う生産設備の投資に対する支援は、増産体制が必要となる場合には、個別の支援策の検討を考えています。

○志佐漁港水産種苗生産施設用地の現状と活用について

【質】用地内の全天候型遊戯施設は白紙、民間部分の提案は事業を進めるということだが、なぜ1年以上協議されていないのか伺います。

【市長】志佐漁港のサウンディング用地については、松浦商工会議所・松浦物産(株)・市での協議を行い、必要性等を議論してきました。さまざまな意見を聞く中で、中心市街地の活性化の必要性などを総合的に判断した結果、優先すべきは市民生活にも直結し、そこににぎわいを創出できる中心市街地の活性化へ軸足を移したところです。一方で、この用地の活用は民間主体で進めることを市が止めているわけではないので、民間の皆さまにそのような思いがあれば実施していただきたいと考えますし、これまでも、必要に応じて打ち合わせ等は担当課が行ってきました。